

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	男女共同参画推進課		
		課長名	櫻江		
事業概要					
事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業				施策番号
					I - 1 - (1) - ①
事業概要	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を図ります。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20 人
	14,870 千円	千円		11,050 千円	係長 0.50 人 職員 0.50 人
					(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、成果の実現を図っていく必要があります。	見直し内容	ワーク・ライフ・バランスを「実践」していくことを目標として、様々な企業・団体と一層連携を深め、より多くの市民、企業に直接働きかけていくことで「実践」を通した成果実現につなげていきます。
----	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)			成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民や企業等	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進及び実践に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行うことにより、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現できるようにします。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合			増加		
	仕事と生活のバランスについて、両立が図られている人が少なく、ワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)増加を目指します				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか ・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催します。 ・企業向け講演会やアドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけを行います。 ・従業員向け広報啓発やワーク・ライフ・バランス表彰の実施を市内企業や事業所に呼びかけます。 ・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンなどによる広報啓発事業を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者数			同程度		
	ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することが、企業等における取組みの支援・促進につながることから、活動指標として掲げました。				%	
	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣回数			同程度		
新たにワーク・ライフ・バランスに取組もうとする事業者等やその充実を図ろうとする事業者等に対し、北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザーを派遣することで、ワーク・ライフ・バランスの推進につながることから、活動指標として掲げました。				%		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
事業名 放課後児童健全育成事業		課長名	大下
		施策番号 I - 1 - (1) - ①	
事業概要		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	1,392,419 千円	千円	人件費
		目安の金額	課長 0.35 人 係長 1.30 人 職員 2.40 人
		35,025 千円	(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 障害のある児童等を含め利用者は増加傾向にあることから、指導員の資質向上を図る必要があります。	見直し内容	臨床心理士等による訪問指導等に引き続き取り組むとともに、指導員研修の充実を図るため、これまでの聴講型から、指導員が主体的に取り組む実践型の研修(各クラブを研修会場とする「おすそわけ研修」)をモデル実施します。また、指導員相互の交流や情報交換を促進します。
-----------	---	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	放課後児童クラブ	障害のある児童等を含め利用を希望する児童を受け入れるとともに、児童への対応を適切に行うなど、市民ニーズに応えられるよう運営体制が充実した状態を目指します。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)
	放課後児童クラブに対する満足度(利用日、利用時間)		向上	
	クラブごとに開設日や開設時間などの運営状況が異なる中、市民ニーズの多様化への対応を示す指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)			%
				%

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	指導員の資質向上を図るための研修の充実や、臨床心理士、アドバイザーをクラブに派遣し、指導員に助言等を行います。また、各クラブの運営における工夫した取り組みを他クラブに紹介し、指導員相互の交流や情報交換を促進します。他に、開設時間の標準化にも引き続き取り組みます。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	18時30分以降まで開設している放課後児童クラブの割合		向上
	開設時間の標準化・延長をはじめ、運営の質の向上を図ることが放課後児童クラブに対する様々なニーズへの対応につながるため、活動指標として掲げました。		
	障害のある児童の受入		%
	研修の充実や臨床心理士等の派遣により指導員の資質の向上を図ることが、受入が増加する障害のある児童への適切な対応につながるため、活動指標として掲げました。	障害児の受入促進	%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点
------------------	---

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	子ども家庭政策課・保育課		
		課長名	坂田・馬場		
事業概要					
事業名	小規模保育運営支援事業				施策番号
					I - 1 - (1) - ②
事業概要	年間を通じた待機児童の解消を図るため、年度中途の入所が困難となっている3歳未満児の保育ニーズに対応することを目的に、小規模保育事業を実施します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20 人
	552.624 千円	千円		9,300 千円	係長 0.40 人 職員 0.40 人
					(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 年度当初の待機児童は0人となっているが、一部地区では、年度中途から待機児童が生じており、年間を通じた待機児童の解消に取り組む必要があります。	見直し内容	—
----	---	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	待機児童	年間を通じた待機児童の解消を目指します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	待機児童数(年度当初:4月)		0 人			
	現在、年度当初の入所児童数は定員を下回っており、市全体では概ね保育需要に対応できる状態にあります。今後もこれを維持していくため、成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年度当初の待機児童「0人」を維持(26年度)				%	
	待機児童数(年度中途:10月)		0 人			
	一部地区では、年度中途から待機児童が生じています。保育需要は、今後も増加すると考えており、年間を通じた待機児童の解消を成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年間を通じた待機児童の解消(26年度)			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 年度中途の入所が困難となっている3歳未満児の保育ニーズに対応することを目的に、小規模保育事業を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	
	小規模保育事業の実施箇所数		18 施設	
	保育需要が高い地域において、認可保育所、私立幼稚園を運営している法人による小規模保育事業を実施します。			%
				%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	子ども家庭政策課		
		課長名	坂田		
事業概要					
事業名	幼稚園預かり保育・認定こども園運営支援事業				施策番号
					I - 1 - (1) - ②
事業概要	認定こども園や預かり保育を実施する私立幼稚園に対し、運営に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの供給を増やし、待機児童の解消を図ります。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20 人
	195,600 千円	千円		9,300 千円	係長 0.40 人 職員 0.40 人
					(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 保育所に入れにくいいわゆる「待機児童」については、年度当初は0人を維持していますが、年度途中で発生しており、年間を通しての待機児童解消が課題となっています。	見直し内容	—
----	---	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	待機児童	年間を通じた待機児童の解消を目指します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	待機児童数(年度当初:4月)				
	現在、年度当初の入所児童数は定員を下回っており、市全体では概ね保育需要に対応できる状態にあります。今後もこれを維持していくため、成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年度当初の待機児童「0人」を維持(26年度)		0 人	%	
	待機児童数(年度中途:10月)				
一部地区では、年度中途から待機児童が生じています。保育需要は、今後も増加すると考えており、年間を通じた待機児童の解消を成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年間を通じた待機児童の解消(26年度)		0 人	%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 年度中途の入所が困難となっている待機児童のニーズに対応するために、認定こども園や幼稚園での預かり保育事業の運営支援を行い、保育サービスの供給を増やします。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	
	認定こども園の運営支援の実施箇所数			
	この制度を利用する施設の数		5 箇所	%
	幼稚園預かり保育の運営支援の実施箇所数			
この制度を利用する施設の数		10 箇所	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	保育課
		課長名	本脇
事業名	特別保育事業補助		施策番号
			I - 1 - (1) - ②
事業概要	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図ります。 また、保護者のパート就労や冠婚葬祭、および育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図ります。 さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、統合保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図ります。		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	1,319.625 千円	千円	人件費
		目安の金額	課長 0.10 人
		3,650 千円	係長 0.10 人
			職員 0.20 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	成果指標として設定した「保育所に対する満足度(保育内容)」は、前年度比較において向上しました。社会経済状況の変化や保護者の就労形態の多様化等に伴い、子育て環境は変化しており、保育所特別保育事業(延長保育、一時保育、障害児保育)に対するニーズも刻々と変化していくため、これに対応していく必要があります。	見直し内容	成果指標である「保育所に対する満足度(保育内容)」の更なる向上を目指し、特別保育事業(延長保育、一時保育、障害児保育)に対するニーズの変化などの状況把握に努め、利用可能施設を拡充していきます。
-----------	-------------------	--	--------------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	児童および保護者	保育所の特別保育事業の拡充および質の向上を図ることで、安全安心な子育て環境を整備し、安心して働き、子育てできる社会を実現します。また、障害のある児童を含め、子どもの福祉向上を図ります。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	保育所に対する満足度(保育内容) 保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みに対する成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(平成26年度)		向上	%		
	(最終目標と目標年度)			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 引き続き、延長保育実施施設数および一時保育実施施設数を増やすことで、活動指標で定めた目標数を達成します。 障害児保育については、既に統合保育が可能な障害児の受け入れを全保育所で取り組むと同時に、直営保育所においては、統合保育が可能な重度障害児の受け入れも行っています。また、延長保育および一時保育における、障害児保育の実施率の向上にも努めていきます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	延長保育を実施する保育所の施設数 保育所の新設や公立民営化に伴う延長保育の実施、既存保育所の新規実施により、延長保育実施施設数を増やすことが多様な保育ニーズの対応につながることから、活動指標として掲げました。(目標数は「元気発進！子どもプラン」に基づく)		153 施設	%	
	一時保育を実施する保育所の施設数 保育所の新設や改築により、一時保育室を設置するなどして、一時保育実施施設数を増やすことが多様な保育ニーズの対応につながるから、活動指標として掲げました。(目標数は「元気発進！子どもプラン」に基づく)		64 施設	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	保育課
事業名 病児・病後児保育事業		課長名	本脇
		施策番号 I - 1 - (1) - ②	
事業概要 保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病氣中、病氣回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。		事業手法	
		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	142,807 千円	千円	目安の金額 課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.10 人 (人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 平成24年度は前年度と同様の9箇所で開催した病児・病後児保育事業を実施しました。利用児童数は前年度に比べ横ばいで推移しており、有効性は依然として高い傾向にあります。特に、利用ニーズの高い地域において、施設の新設の必要があります。	見直し内容	利用ニーズの高い地域において、2箇所の新設を目指します。
-----------	---	--------------	------------------------------

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	保護者の勤務等やむを得ない事由により、家庭での保育が困難な病氣中、病氣回復期にある児童の保護者	病児・病後児保育室を利用することで、子育てと就労の両立が可能な状態を目指します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	保育所に対する満足度(保育内容) 保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(平成26年度)		向上	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか ・利用ニーズの高い地域において、2箇所の新設を目指します。 ・病児保育室併設の医療機関に加え、各保育所や幼稚園など、対象の保護者が利用する施設でパンフレットの配布やポスターを掲示します。また、市ホームページや市政だより等情報誌へ掲載するなど、効果的なPRにより、事業の認知度上昇を図り、対象者の利用促進に繋がります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	病児・病後児保育事業を実施している施設の箇所数 医師会に対して実施施設の推薦を働きかける等、実施箇所数の増加を図ります。(最終目標と目標年度)11箇所(平成26年度)		11 施設	%	
	病児・病後児保育事業の効果的なPR 関係各施設へパンフレットやポスターの配布、ホームページ上での掲載、市政だより等情報誌への掲載など、効果的なPRを行うことが、病児・病後児保育事業の周知につながるから、活動指標として掲げました。		効果的なPRの実施	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要					担当局	子ども家庭局
					担当課	保育課
事業名 (仮称)北九州市子育て支援コンシェルジュ配置事業					課長名	本脇
					施策番号	
事業概要 保育所、幼稚園や地域の子育て支援の事業等の利用について、情報の収集と提供を行うとともに、利用にあたり、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所に1名ずつ子育て支援コンシェルジュを配置します。					<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
					(人件費備考)	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)		目安の金額	課長 0.10 人
	14,600 千円	千円	千円	人件費	2,400 千円	係長 0.05 人 職員 0.10 人

【Action】改善		
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 新制度では、保育所、幼稚園や地域の子育て支援事業等様々な事業が用意されています。待機児童の解消等のために個々のニーズに応じて確実に提供すべく、子どもや保護者が各種事業の中から自分の家庭に一番ふさわしいメニューを、確実に円滑に利用できるようなコーディネートが必要です。	見直し内容 —

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 就学前の子ども及びその保護者	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 就学前の子ども及びその保護者の身近な場所において、保育所、幼稚園などの教育・保育施設や地域の子育て支援の事業等の利用について情報集約と提供を行うとともに、利用にあたって子どもや保護者からの相談に応じます。また、必要な情報提供・助言をし、関係機関との連絡調整等を行うことで、保育所待機児童の解消や、子育ての悩みや不安を感じる人の割合の減少を図ります。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	待機児童数(年度当初:4月)		0 人		
	現在、年度当初の入所児童数は定員を下回っており、市全体では概ね保育需要に対応できる状態にあります。今後もこれを維持していくため、成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年度当初の待機児童「0人」を維持(26年度)			%	
待機児童数(年度中途:10月)		0 人		%	
	一部地区では、年度中途から待機児童が生じています。保育需要は、今後も増加すると考えており、年間を通じた待機児童の解消を成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年間を通じた待機児童の解消(26年度)				

活動計画	各区に1名ずつ「(仮称)北九州市子育て支援コンシェルジュ」を配置し、保育所、幼稚園などの教育・保育施設や地域の子育て支援の事業等の利用について情報集約と提供を行うとともに、利用にあたって子どもや保護者からの相談に応じます。また、必要な情報提供・助言をし、関係機関との連絡調整等を行うことで、保育所待機児童の解消や、子育ての悩みや不安を感じる人の割合の減少を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	相談対応件数		560 件		
	子育て支援関連施設の利用について、子どもや保護者からの相談に応じ、それぞれに必要な施設等の情報提供をすることが、それぞれの施設への円滑な入所に繋がります。			%	
保育所等未入所児童数に対する情報提供数		560 件		%	
	保育所等入所希望者のうち、保育所等未入所児童に対する個々のニーズや状況にマッチした施設等の情報を提供することで、よりきめ細かい対応を行います。				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局							
		担当課	子育て支援課							
		課長名	西尾							
事業名	母子健康診査									
	施策番号 I - 1 - (1) - ③									
事業概要	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診の機会を提供します。 (妊婦健康診査、B型肝炎母子感染防止事業、先天性代謝異常等検査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)									
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 直営</td> <td><input type="checkbox"/> 補助金</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全部委託</td> <td><input type="checkbox"/> 負担金</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部委託</td> <td><input type="checkbox"/> 指定管理</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他</td> <td></td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助金									
<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 負担金									
<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理									
<input type="checkbox"/> その他										
コスト	事業費	26年度当初予算額 1,012.097 千円	26年度執行額 千円	(事業費備考)	人件費	目安の金額 3,615 千円	課長 0.01 人 係長 0.05 人 職員 0.40 人	(人件費備考)		

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	公費助成回数の拡充を図ったことで、妊娠早期から受診する人が増加しています。今後も健診の公費助成を継続する必要があります。また、妊娠早期から受診することにより、疾病の予防や異常の早期発見につながることから、確実な受診が必要です。	見直し内容	今後も母子の健康支援ために必要な健康診査の公費助成を継続します。また、妊婦健康診査の確実な受診や妊娠・出産に関する正しい情報の効果的な提供が必要なため、受診勧奨の強化や妊婦健診結果による保健指導に取り組みます。
-----------	-------------------	---	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	妊婦、乳幼児	妊婦や乳幼児の健康保持のため、妊婦や乳幼児に対する健康診査の確実な受診への勧奨や、妊娠・出産に関する正しい情報の効果的な提供を行いません。また、妊婦や乳幼児に対する健康診査を公費助成することで、子育て世帯の経済的な負担を軽減します。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標
	妊娠11週までの妊娠届出者の割合			100 %
	母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、妊娠早期から妊婦健診を受診することが必要であるため、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 100%(26年度)			%
		(最終目標と目標年度)		%

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	妊婦健診の公費助成を14回行うとともに、受診勧奨を行うことで、受診率を向上させます。また、様々な機会を通じて妊婦健診を周知し、11週までの妊娠届出者数を増加させます。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		26年度実績(達成率)
	妊婦健診受診率		
	母体の健康を保持し、安心して妊娠・出産するため、妊婦健診を受診することは必要であるため、活動指標として設定しました。		増加
	3歳児健診受診率		%
	乳幼児の健康を保持し、健全な育成を促すために、乳幼児健診を受診することは必要であるため、活動指標として設定しました。		増加
			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p>
	<p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
		課長名	大下
事業名	事業概要		
	乳幼児等医療費支給事業		
事業概要	事業概要		
	乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療にかかる医療費の自己負担額を助成します。		
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	2,621,000 千円	千円	
		目金の金額	課長 0.10 人
		11,150 千円	係長 0.40 人
			職員 0.80 人
		(人件費備考)	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 経済面における子育ての不安解消に寄与しており、施策効果は高いと考えます。 今後は、小学生期への通院助成拡充とともに、事業費の圧縮が検討課題として挙げられます。	見直し内容	持続可能な制度とするために、制度のあり方を検討します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 乳幼児等及びその保護者	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、乳幼児等の保険診療による医療費の自己負担額を助成します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)		減少	%	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)		減少	%	
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 現行制度を継続して実施するとともに、制度のあり方を検討します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 医療費支給制度の維持	25年度実績	26年度目標
	制度を維持し、子育てにかかる経済的負担を軽減することで、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、活動指標として設定しました。		-
			%
			%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
事業名 すくすく子育て支援事業		課長名	西尾
		施策番号 I - 1 - (1) - ③	
事業概要 母子健康手帳の交付、妊産婦乳幼児なんでも相談、母親学級、両親学級、育児学級等の母子保健教室、乳幼児発達相談指導「わいわい子育て相談」、乳幼児健診未受診者フォロー事業(児童虐待予防事業)、その他母子保健に関する事業を実施します。		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
		(人件費備考)	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	27,660 千円	千円	人件費 目金の金額 課長 0.10 人 係長 0.30 人 職員 0.40 人 (人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 児童虐待発生予防や育児不安の軽減、母子の健康保持増進のために事業等の継続が必要のため、母子健康手帳の交付、妊婦同士の交流の場や妊娠・出産・育児に必要な知識を効率的に提供する場の確保が引き続き必要です。また、発達障害を早期に支援するため、発達の気になる子どもに対する相談の場を確保する必要があります。	見直し内容	今後も、母子健康手帳交付やその際の面接、妊娠中からの子育て支援や母子の健康支援のための保健指導や教室を継続実施します。「わいわい子育て相談について」回数の拡充は困難でしたが、全区で親子遊び教室を実施します。
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 妊産婦や乳幼児	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 妊娠期から育児中にわたる母と子の健康づくり、育児不安などに対する専門的支援を柱として、当該事業を展開し、生涯を通じた母子保健に関する住民の健康づくりを行います。母子の健康確保や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供するため、母子を対象とした健康教室の実施など保健指導を実施します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者) 多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	25年度実績 26年度目標 減少	26年度実績(達成率) %	成果の状況 評価理由
	(最終目標と目標年度)		%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 母子健康手帳交付時から、子育てに関する情報を提供し、保健師等の専門職が相談に応じ、妊娠中からの継続した支援を行います。育児不安や就学前までに発達の気になる親子を対象にした教室を実施し、子どもの発達を促すとともに、親の育児不安の軽減に繋がります。乳幼児の子育てや基本的生活習慣等に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法を検討し、参加しやすい教室を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 母親学級開催数 より多くの妊産婦やその家族に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ることは重要であるため、活動指標として設定しました。 わいわい子育て相談の実施回数 発達が気になる子どもを早期に発見し、親子を支援するために相談体制の充実が必要であるため、活動指標として設定しました。	25年度実績 26年度目標 維持 維持	26年度実績(達成率) % %	活動の状況 評価理由

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点
------------------	---

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
事業名 のびのび赤ちゃん訪問事業		課長名	西尾
		施策番号 I - 1 - (1) - ③	
事業概要	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問することで、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつけます。また、うつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いて、支援します。		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額 47,627 千円	26年度執行額 千円	(事業費備考) 目金の金額 4,115 千円
			課長 0.01 人 係長 0.10 人 職員 0.40 人 (人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 訪問率は上昇していますが、全戸訪問を充実するには、地域の主任児童委員や保健師等の専門職で協働と資質の向上、人材の確保が必要です。訪問の結果では、産後うつなど特に支援が必要な家庭が一定数あり、継続訪問が必要です。	見直し内容	小児科や産科、精神科などの医療機関と情報を共有して支援に当たる体制の整備や訪問によって特に支援が必要と認められた家庭への支援を強化します。訪問者が適切な支援ができるように研修を充実させます。今後も訪問を継続することで児童虐待の発生予防に取組みます。
-----------	--	--------------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 生後4か月の乳児のいるすべての家庭	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 子育ての孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、生後4か月まで乳児がいるすべての家庭を訪問し、その居宅において、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供や、親子の心身の状況及び養育環境を把握し、助言を行うとともに、養育支援が必要な家庭に対し、専門的支援を行います。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者) 多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
			減少	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等でその居宅において面接して情報を提供します。また訪問により、養育支援の必要な家庭を把握し支援に繋がります。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の割合 全戸家庭訪問により、母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため指標に掲げました。	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
			対前年度増	%	
				%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

事業概要					担当局	子ども家庭局
					担当課	子ども家庭政策課
事業名 子育てに関する情報提供の充実・PR					課長名	猪本
					施策番号	
事業概要	子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図ることにより、必要とされる子育てに関する情報が、市民に届く仕組みを構築します。また、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。					事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
	コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	
	3,216 千円	千円			9,050 千円	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	必要とされる子育てに関する情報が市民に届くよう、情報提供のあり方を見直すとともに、内容を充実させる必要があります。大規模イベントによる地域や家庭への啓発は方法を見直す必要があります。	見直し内容	子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌の内容や情報提供方法の充実を図っていきます。「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に本市の取り組みを周知することにより、引き続き、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めていきます。子育てに優しいまちづくりに向けたキャンペーン「すくすく子育てフェスタ」は、「元気発進！子どもプラン」に基づき、子育て日本一を実感できるまちづくりの周知啓発を目的に平成22年度より実施してきましたが、本市の総合的な子育て支援拠点施設である「子どもの館」・「子育てふれあい交流プラザ」での親子で楽しめるイベントのほか講座、相談及び情報提供が充実してきたことから、大規模イベントによるキャンペーンを見直し、今後は、両施設での各種事業を通じた、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりの取組みを検討します。
-----------	-------------------	---	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	子育て中の保護者 市民	情報誌の内容、情報提供方法の充実に努め、子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できる仕組みを構築し、子育ての不安や悩みの軽減を図ります。本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者) 多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として掲げました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)減少(26年度)		減少	%	
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われており、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として掲げました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)減少(26年度)		増加	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	情報誌「こそだて情報」等を活用した情報提供の充実を図っていきます。「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	「こそだて情報」の発行		—	%	
	「こそだて情報」を発行することが、必要とされる子育てに関する情報を提供することにつながるため、活動指標として掲げました。		—	%	
	「子ども家庭レポート」の発行		—	%	
	「子ども家庭レポート」を発行することが、幅広く市民に本市の子ども家庭行政を周知することにつながるため、活動指標として掲げました。		—	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要					担当局	子ども家庭局
					担当課	子育て支援課
					課長名	大下
事業名	親子ふれあいルーム運営事業				施策番号	
					I - 1 - (1) - ④	
事業概要	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などで運営します。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
						()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	<small>(事業費備考)</small>	<small>人件費</small>	目安の金額	課長 0.10 人
	32,898 千円	千円			7,275 千円	係長 0.35 人 職員 0.35 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	利用者数は順調に増加していますが、更なる利用促進のため、親子ふれあいルームの安定した運営や質の向上を行う必要があります。また、実情に応じた地域における子育て支援の取組みを進めることが求められています。	見直し内容	引き続き、ニーズに合った研修を実施することで、質の向上を図ったり、連絡会議を開催し情報交換を行うことで、各ルーム間の連携や活動の充実を目指していきます。また、地域の子育て支援団体、施設、育児サークル等と連携しネットワーク化できるよう、情報を提供したり、人を紹介したり等の支援を行っていきます。
-----------	-------------------	--	--------------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	乳幼児とその保護者	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などで運営します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) <small>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</small>	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合		増加		
	地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)			%	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)		減少		
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 区役所等7か所・児童館10か所での親子ふれあいルームの運営を実施します。親子ふれあいルームの利用促進を図るため、情報発信(PRチラシ作成、配布等)を実施します。親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) <small>(上段:指標名 下段:指標の説明)</small>	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	親子ふれあいルーム利用者数(保護者)		対前年度増		
	親子ふれあいルームを利用することで、子育ての不安や悩みを軽減できると考えられるため、利用者数を活動指標として掲げました。			%	
	市民センター等との情報交換実施件数		84 件		
市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等と積極的に連携しネットワーク化を図るなど、地域における子育て支援に取り組むため、情報交換を実施した件数を活動指標として掲げました。			%		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
事業名 子ども・家庭相談コーナー運営事業		課長名	西尾
		施策番号 I - 1 - (1) - ④	
事業概要	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげています。		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額 87,976 千円	26年度執行額 千円	(事業費備考) 目金の金額 6,075 千円 課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.60 人 (人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 子どもと家庭に関する相談は増加傾向にあります。また、その内容は複雑化していることから、相談員にはより高い専門性が求められています。	見直し内容	相談員を対象に、年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修、事例検討会等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応していきます。
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	子どもや家庭等の悩みや不安を持つ相談者	「子ども・家庭相談コーナー」で、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図ります。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	25年度実績 26年度目標 減少	26年度実績(達成率) %	成果の状況 評価理由	
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)				
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)	25年度実績 26年度目標 減少	26年度実績(達成率) %		
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)				

活動計画	どうやって目的を達成するか 子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげ、総合的な相談窓口としての役割を担います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 相談件数	25年度実績 26年度目標 -	26年度実績(達成率) %
	各区の「子ども・家庭相談コーナー」において、子ども・家庭相談員等が、来所、電話、訪問、手紙など、様々な形態による相談に応じています。その相談件数を活動指標として設定しました。		
			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点
------------------	---

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局				
		担当課	保育課				
		課長名	河淵				
事業概要							
事業名	子育て支援総合コーディネーターの配置				施策番号		
					I - 1 - (1) - ④		
事業概要	「子育て支援サロン“ぴあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行います。また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や絵本の貸出を行い、子育て支援の充実を図っています。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額	課長	人
	14,322 千円	千円			1,750 千円	係長	0.10 人
						職員	0.10 人
							(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	「子育てに関する相談は、電話相談1240件、面接相談1113件、メール相談232件であり、利用者に必要な関係機関との連携、調整等も図っています。この有効性は高いといえますが、さらに市民に周知していくことが必要と考えます。」	施設内での育児講座や貸出図書などを通して、事業の周知を図り、効率的な運営をすすめていきます。
----	-------------------	-------	---	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	未入所児童	子育てに悩む保護者の思いを傾聴することで、不安をとりのぞき、子どもの育ちを支えています。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)		減少	%	
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上で重要であることから、成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)				
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)		減少	%	
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上で重要であることから、成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)					

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	市において北九州市保育所連盟と委託契約を締結し、保育士等により構成された子育て支援コーディネーターを3名配置して、子育てに関する相談への対応や各関係機関との連携、コーディネート業務等を実施します。また、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催を行います。	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	コーディネーターの配置人数		3 名	%	
	「子育て支援サロン“ぴあちえーれ”」のコーディネーターの数の現状維持に努め、子育て相談や関係機関との連携、調整等にきめ細かく対応します。				
	育児講座の実施回数		10 回	%	
	大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催を行い、子育て支援の充実を図ります。				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
事業名 母子福祉センター運営委託		課長名	西尾
		施策番号 I - 1 - (1) - ⑤	
事業概要 「母子福祉センター」は、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談を受けたり、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で行っていきます。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指してまいります。		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
		()	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	38,682 千円	千円	事業費には施設管理費等16,277千円を含む
		目安の金額	課長 0.02 人 係長 0.05 人 職員 0.10 人
		1,480 千円	(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 就業支援講習会は、講座の内容等を見直すことにより、受講者は前年度より554人増加し、24年度から専門職(キャリアカウンセラー)を配置した自立支援プログラム策定事業により、就職者を増やすことができました。更に受講者や就職者を増やすことが必要です。また、利用者を増やすため、センターの認知度を向上させる必要があります。	見直し内容	就業支援講習会の講座の内容を見直し、受講者の増加を目指します。また、ひとり親家庭の合同就職説明会で、自立支援プログラム策定の支援申込みを受け付けることにより、両事業を連携させて就職者を増やします。また、「自立支援プログラム策定による成功事例集」を作成して、制度のPRに努めます。
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) ひとり親家庭の親と寡婦	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 「母子福祉センター」において、各種相談事業、自立促進のための各種講座や就職相談会などを実施し、母子家庭等の総合的な福祉の向上を図ります。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	母子福祉センターにおける講座等の受講者延べ人数 ひとり親家庭が自立し、安定した生活を営むためには、就業により収入を安定的に確保する必要があります。よって、この就業を支援する施策の利用数の増加を成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 6,000人(26年度)		6,000 人	%	
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(母子福祉センター) 自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)		減少	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか ひとり親家庭等の様々な相談に応じるとともに、生活指導や技能習得のための講座の開催、就職の援助等を行い、生活の安定や福祉の向上に努めます。また、就業支援の充実を図るため、24年度から、母子福祉センターの就業支援員に専門職(キャリアカウンセラー)を配置して行なっている自立支援プログラム策定事業をPRし、事業による就業者の増加を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	母子福祉センターの利用者数 母子福祉センターは、相談事業や就業支援事業等を行い、母子福祉を総合的に推進する拠点施設であることから、その利用者数を活動指標としました。		対前年度増	%	
				%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力度の視点
------------------	--

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局					
		担当課	保育課					
		課長名	重谷					
事業概要		施策番号						
事業名	親子通園事業				I - 1 - (1) - ⑤			
事業概要	幼児期の子どもの発達や育児に関して、不安や孤独感を抱えている保護者にとっては、思いを共有し、気兼ねなく安心して親子で過ごせる場所を提供する等、伴走型の支援が必要です。あそびや体験等を通じて、子育ての楽しさや成長の喜びを保護者が感じられるよう保育所での継続した支援、相談を行います。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()			
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.10 人	(人件費備考)
		2,901 千円	千円			4,650 千円	係長 0.20 人 職員 0.20 人	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 現在、小倉北区と八幡西区で実施しています。市民ニーズが高まるなか、距離的な問題のため利用したいが利用できない市民のために、全市的なバランスを考えての配置が必要と思われます。	見直し内容	実施方法の検討をし、利用者の満足度の向上を目指します。
----	---	-------	-----------------------------

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 発達の良い子どもとその保護者	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を含めた伴走型支援を行います。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 保育所に対する満足度(保育内容)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発達！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(平成26年度)		向上	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 需要が見込まれる地区において親子通園クラスを運営し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 親子通園クラスの利用者の満足度	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	親子通園クラスを運営し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談等を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。		向上	%	
				%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局				
		担当課	子育て支援課				
		課長名	西尾				
事業名	児童養護施設等措置費		施策番号				
			I - 1 - (1) - ⑤				
事業概要	児童養護施設・乳児院・情緒障害児短期治療施設・自立支援施設・ファミリーホーム・里親において、保護を要する児童に係る必要な経費を負担します。 その費用の中で、①児童養護施設・乳児院の各施設にて、家庭的な環境の中で職員との個別な関係を重視したケアを提供するため、小規模なグループ(原則6~8名)によるケア、②施設を退所し就職する児童に対し、相談その他日常生活上の援助及び生活指導の支援を行い、社会的自立の促進に寄与する自立援助ホームの運営、③家庭的養護を促進するため、養育者の住宅を利用し、基本的な生活習慣を確立するとともに児童の自立を支援するファミリーホームを普及・推進、④児童養護施設等入所児童に暖かい家庭生活を体験させ、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進する家庭生活体験事業を実施します。		事業手法				
				<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()			
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.30人	(人件費備考)
		1,776,564 千円	千円		12,825 千円	係長 0.30人 職員 0.85人	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	引き続き、①小規模グループケアや地域小規模児童養護施設の運営、②施設を退所し就職する児童に対し、社会的自立の促進に寄与する自立援助ホームの運営、③家庭的養護を促進するため、ファミリーホームを普及・推進、④児童養護施設等入所児童に暖かい家庭生活を体験させる家庭生活体験事業等を実施します。
-----------	-------------------	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	措置(委託)児童の生活環境	社会的養護が必要な子どもが、それぞれの子どもにあった生活環境で、健やかにたくましく育ち、自立できるよう、児童養護施設等における各種事業を推進します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	児童養護施設における生活環境整備等の促進			生活環境整備等の促進	%	
	児童養護施設において、家庭的養護を推進するための小規模グループケアや地域小規模児童養護施設の新設を進めるとともに、職員の資質向上等を図るなど、子どもたちへの支援をさらに充実させます。しかしながら、数値化することは困難です。 (最終目標と目標年度)				%	
(最終目標と目標年度)				%		

活動計画	どうやって目的を達成するか	社会的養護が必要な子どもが、それぞれの子どもにあった生活環境で、健やかにたくましく育ち、自立できるよう、児童養護施設等における各種事業を推進します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	小規模グループケア実施箇所数			単年度の目標設定はありません	%	
	国の要綱に基づき、1施設2グループケアまで指定できることから、市内7施設で14か所の設置を指標としました。				%	
就職等自立児童数			-	%		
		就職もしくは大学進学を進めるとともに、自立資金の貯蓄や正しい生活習慣を身につけさせるなど、自立に向けた準備を整えて卒園させる必要があります。しかし、児童の状況に応じた支援であることから、目標の設定は困難です。			%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	子ども総合センター		
		課長名	高橋		
事業概要		施策番号			
事業名	児童虐待防止(子どもの人権擁護)推進事業				I - 1 - (1) - ⑤
事業概要	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修及び広報活動を行います。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.80 人
	15,567 千円	千円		33,200 千円	係長 0.90 人 職員 2.00 人
					(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 関係機関職員を対象にした「児童虐待対応リーダー養成研修」や市民や関係機関職員に対する「連続講座」などを実施した結果、児童虐待通告件数は増加しています。	見直し内容	通告のうち虐待と認められたものの児童虐待対応件数の減少に取り組むため、今後とも、左記の事業を実施していくとともに、相談対応の強化を図ります。
----	--	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	児童虐待事案	児童虐待に関する啓発や研修を積極的に行うとともに、児童虐待の早期発見、早期対応に努め、事案の減少を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	児童虐待対応件数 児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待対応件数の減少につながることから、成果指標として掲げました。 最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)		減少	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 児童虐待相談対応体制の強化を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	児童虐待問題連続講座の参加者数 市民や関係機関職員を対象にした「児童虐待問題連続講座」などを実施した結果、児童虐待通告件数が増加したことから、参加者数を指標として掲げました。		対前年度増	%	
	児童虐待対応リーダー養成研修の参加者数 児童虐待の早期対応を図るため、保育所、学校等の職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」を毎年実施しています。毎年対象施設が異なるため、参加者数も変動しますが、指標として掲げました。		-	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
		課長名	大下
事業名	みんなの子育て・親育ち支援事業	施策番号	
		I - 1 - (1) - ⑥	
事業概要	未就学児の親同士との交流や子どもの遊び、体験活動、地域との交流、子育てについての勉強会など、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援します。特に、先進的な育児サークルの活動については、その内容を広くPRするなどの支援を行います。また、子ども連れでも自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援します。	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
		(人件費備考)	
コスト	事業費	26年度当初予算額 5,275 千円	26年度執行額 千円
	人件費	目安の金額 6,400 千円	
		課長	0.10 人
		係長	0.30 人
		職員	0.30 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	引き続き、育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」に活動経費を補助します。また、身近な地域での交流の場(フリースペース)や育児サークルについて調査を行い、その情報を発信し、利用の促進を図ります。さらに、地域づくりや子育て支援に関して豊富な経験・実績を有する地域支援アドバイザーを各地域に派遣し、「育児サークル」や「子育て支援者グループ」等の活動がより活性化するよう団体間のつなぎ役を担い、「子育てネットワーク」の構築を図ります。
-----------	-------------------	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 子育てに係る団体等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 未就学児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援します。また、子ども連れでも自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)		増加	%	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者) 多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)		減少	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」に活動経費を補助します。また、身近な地域での交流の場(フリースペース)や育児サークルについて調査を行い、その情報を発信し、利用の促進を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	子育てに関わる団体への補助件数 育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」への財政的支援を行い、育児サークルの自主的活動や地域で行われる子育て支援活動を促し、子育ての不安や悩みを軽減する環境づくりを推進するため、補助件数を活動指標として掲げました。		110 件
			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子ども家庭政策課
		課長名	猪本
事業名	赤ちゃんの駅登録事業	施策番号	
		I - 1 - (1) - ⑥	
事業概要	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の親が安心して外出できる環境づくりを行います。	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
		(人件費備考)	
コスト	事業費	26年度当初予算額 1,300 千円	26年度執行額 千円
		(事業費備考)	
		目安の金額	課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.30 人
		4,400 千円	(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 子育ての悩みや不安を緩和するよう、身近な地域で親子を支える仕組みをつくるとともに、子育てを地域で支えるという意識を市民に啓発する必要があります。	見直し内容	イベントを活用した「赤ちゃんの駅」PR方法を見直し、経済的・効率的な登録施設数増や利用促進に努めます。
-----------	---	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	乳幼児を持つ保護者 民間事業者 市民	安心して子どもを生み育てることができるように、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の家庭が安心して外出できる環境づくりを進めます。また、本事業については、公共施設だけではなく、民間事業者の協力も得るなど、地域社会全体で子育て中の家庭を支える環境づくりを進めます。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合		増加	%
	地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)増加(26年度)			%
	(最終目標と目標年度)			%

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子育て家庭が安心して外出できるように、登録施設数の増加や利用促進に向けたPR活動に取り組む、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めます。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	「赤ちゃんの駅」登録施設数		300 施設
	「赤ちゃんの駅」登録施設数が増加することが、乳幼児を持つ保護者の利便性の向上につながるため、活動指標に掲げました。		%
			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>
------------------	--

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要				担当局	子ども家庭局
				担当課	青少年課
事業概要				課長名	塚崎
				事業名	
事業概要				I - 1 - (4) - ①	
				社会の構成員としての規範意識や他者への思いやり等の豊かな人間性を育むとともに、社会性や協調性等を身に付けることができるよう、青少年が行うボランティア活動を支援・促進します。 ①ボランティア活動の推進：青少年が参加できるボランティアプログラムの開発及び関係機関・団体等への働きかけを行います。 ②社会参加ボランティアの実施：関係機関と連携しながら、ボランティア活動を通じた青少年の社会的自立を支援します。 ③リーダーの養成や登録：ボランティア活動の知識や実践力を育て、活動を支援できるリーダーの養成及び登録を行います。	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.10 人
	2,034 千円	千円	千円	6,150 千円	係長 0.50 人 職員 0.00 人
				(人件費備考)	
事業手法				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 家庭や地域における体験活動の不足が、青少年の「社会とのかかわりの自覚」や「自己の確立や向上」を阻害していると言われています。ボランティアステーションのコーディネートによるボランティア活動を行う若者は年々増加していますが、今後もボランティア活動を通じた豊富な体験活動プログラムの提供と活動支援を進めていく必要があります。	見直し内容	中心事業の一つである「夏休みの青少年ボランティア体験」のPRや新たなプログラム開発に取り組みます。また、小・中学生や高校生等を対象にした「出前授業」のPRに取り組み、経費を削減しつつ、実施の拡充を図ります。プログラム実施後の受け入れ施設・団体等へのフォローの充実により、機会の拡大や内容の充実を目指します。
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 青少年	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 青少年の健全育成に欠かすことができない様々な体験活動を通じ、青少年が社会の構成員として規範意識や社会性、協調性等を身に付けることができるよう、青少年ボランティアステーションを拠点に、青少年のボランティア活動を支援・促進します。また、ひきこもりや非行等の課題を抱える青少年の社会的自立を支援するため、社会参加ボランティアプログラムを実施します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	ボランティア体験活動者数(延べ人数)		増加 (3,200) 人	%	
	青少年ボランティアステーションのコーディネートにより、ボランティア活動に取り組んだ小・中学生や高校生等の延べ人数が、本事業の活性化を図る一つの指標になると考え掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したのですが、前年実績に対する増を目指します。 (最終目標と目標年度) 3,200人(26年度)			%	
(最終目標と目標年度)			%		

活動計画	どのようにして目的を達成するか ■年間を通じて、ボランティア活動情報の提供と活動調整及び活動時の支援を行います。 ■7～8月は、市内の小・中学生や高校生等を対象にした「夏休みの青少年ボランティア体験」を実施します。 ■ボランティアという社会貢献に対する意識を醸成することが重要と考え、広報・普及活動の一環とした「ボランティア出前授業」を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	「ボランティア出前授業」参加児童・生徒数		500 人	%	
	規範意識や他者への思いやり等を高めることにつながるボランティア活動の意義について、市内の小・中学生やインターアクトクラブ等に所属する高校生等を対象にした「ボランティア出前授業」を実施し、広報・普及活動に取り組めます。			%	
			%		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点
------------------	---

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	青少年課		
		課長名	塚崎		
事業概要		施策番号			
事業名	「ユースステーション」運営費				I - 1 - (4) - ①
事業概要	中学生・高校生を中心とした若者の活動拠点となり、社会参加準備のためのさまざまな活動を体験することができる施設として「ユースステーション」の運営を行います。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目金の金額	課長 1.00 人
	29,256 千円	千円		25,875 千円	係長 0.50 人 職員 1.25 人
					(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 計画通り整備が完了し、平成25年4月2日に「北九州市立ユースステーション」としてオープンしました。今後、施設の特色を生かした「若者による自主企画」など、事業の充実が必要です。	見直し内容	主催事業の充実に加え、中・高校生などの若者による自主企画事業の実施、各分野のボランティアや北九州ひとみらいプレイスの関係機関等とのネットワークの活用に取り組みます。開設2年目となるため、経費の見直しにも着手し、効率的な運営に努めます。
----	--	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	中・高校生をはじめとする若者	学習や体験、スポーツ・文化活動、仲間との交流等を通じて、自己を発見し、社会性や自立性を身につけます。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	青少年への社会体験活動等の機会や場の提供			機会や場の提供の増加	%	
	次世代を担う青少年が社会とのかかわりを自覚し、自己を確立・向上し、けるよう、青少年に豊富な社会体験活動等の機会や場を提供します。					
	(最終目標と目標年度)					
若者による自主企画事業の数			対前年増	%		
施設の特色を生かした、若者による自主企画事業の増加に取り組みます。						
(最終目標と目標年度)						

活動計画	どうやって目的を達成するか 中・高校生などの若者による運営委員会方式による企画や、各分野のボランティアや北九州ひとみらいプレイスの関係機関等とのネットワークの活用を進めます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		26年度実績(達成率)
	若者向け事業への参加者数		%
	関係機関等とのネットワークの活用等により、各種事業の数・質を高め、事業への参加者数の増加を図ります。		%
			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
事業名		課長名	塚崎
		施策番号	
事業概要		I - 1 - (4) - ①	
		不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。 そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』を開設し、自立を支援しています。	
コスト		事業費	23,342 千円
		26年度当初予算額	26年度執行額
事業手法		課長	0.10 人
		係長	0.15 人
見直し内容		職員	0.15 人
		(人件費備考)	
コスト		目安の金額	3,775 千円
		(事業費備考)	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 平成24年度は、延べ相談件数が2,713件(来所973件、電話1,740件)、その内新規来所相談実人数は145件となっています。また、自立へのステップアップのために必要な体験プログラムへの延べ参加者は1,019人となりました。しかし、相談機関へ未だ繋がっていない者の存在が推測されること、また、自立に向けたステップアップに繋がる体験プログラムの充実が必要です。	見直し内容	・継続的に悩みや課題を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)しながら、相談機関へ繋がるための環境づくりについて検討します。 ・相談事業に加え、コーディネーターを中心に、若者の自立に向けたより細やかなステップアップに繋がる体験プログラムの提供について検討します。
-----------	---	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 困難を抱えている子どもや若者	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) さまざまな困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』の運営を行い、自立を支援します。	成果の状況 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合 ニートやひきこもり、不安定な雇用形態等将来を見通せない不安の中、社会生活を円滑に営む上でさまざまな困難を抱えている若者の増加が社会問題となっています。このような現状の改善のため、若者の自立支援に取り組み、その成果をはかる指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)		減少	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 子ども・若者応援センター「YELL」を運営します。 ・困難を抱える子どもや若者の育成支援に関する総合相談・助言 ・保護者のための面接相談 ・相談内容に応じた情報提供 ・専門機関との連携 等	活動の状況 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	来所・電話相談件数 悩みや課題を抱える子どもや若者、その保護者等を適切にサポートしていきます。(YELLの認知度を測る指標として設定しますが、本来は「相談内容」が重要なため、数値目標は設定できません。)		増加	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点
------------------	---

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	青少年課		
		課長名	塚崎		
事業概要		施策番号			
事業名	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業				
事業概要	「Ⅰ 非行防止対策」「Ⅱ 非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ 薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ 地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.80 人 係長 0.50 人 職員 1.00 人
	42,400 千円	千円		21,700 千円	(人件費備考)

<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	■ 事業手法 ()
---	---------------

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 ・道徳教育や規範教育を充実し、青少年の規範意識の育成を図ることが必要です。 ・街頭補導や見守り活動、有害環境の浄化など、地域と連携した非行の未然防止のための取り組みが必要です。 ・立ち直りのための支援体制を構築することが必要です。	見直し内容	有害環境の浄化や非行防止教室等の充実に加え、関係機関との連携により就労支援をはじめとする立ち直り支援を強化します。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	青少年	有害環境から青少年を守り、非行を未然に防止します。また、非行歴のある少年の就労支援等、地域で非行からの立ち直りを支えるための取り組みを推進します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	非行者率				
	非行者率(10～19歳までの少年人口1,000人あたりに刑法犯少年が占める割合) 12.7人(H24) →(全国平均 6.6人) (最終目標と目標年度)		減少	%	
	再犯者率				
39.3%(H24) →(全国 33.9%) (最終目標と目標年度)		減少	%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 非行防止教室、薬物乱用防止教室等の実施、青少年育成会や少年補導委員等の活動支援などの充実により、有害環境から少年を守るとともに、地域と連携し、非行防止を図ります。 警察や保護司会、協力雇用主会等、関係機関・団体との連携により、非行からの立ち直りを支えます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	非行防止教室等の参加者数		増加
	市立中学校の生徒を対象とした非行防止教室や、保護者や地域の方々を対象とした出前講演など講演を実施します。		%
	就労支援プログラムの実施		プログラム提供機会の増加
	非行歴のある少年の立ち直りを支援するプログラムを実施します。		%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
事業名 若者のための応援環境づくり推進事業		課長名	塚崎
		施策番号 I - 1 - (4) - ③	
事業概要		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。 そこで、若者のための応援環境づくりを推進します。			
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	1,496 千円	千円	人件費
		目安の金額	課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.10 人
		2,900 千円	(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 若者向けホームページには、平成24年度は13,629件のアクセスがありました。目標には到達していません。今後、内容の充実が必要です。また、北九州市子ども・若者支援地域協議会の運営(実務者会議11回)やユースアドバイザー養成講習会の開催(42名参加)を通じてネットワークづくりを行っていますが、今後も着実な運営・実施が必要です。	見直し内容	・北九州市若者応援サイト「YELL」に掲載する情報量の充実を図ります。 ・北九州市子ども・若者支援地域協議会の着実な運営、また、ユースアドバイザー養成講習会を開催し、若者の応援環境づくりを推進します。
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
	困難を抱えている子どもや若者	若者の自立を支援するため、若者向けのホームページの運営や「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の運営、また、ユースアドバイザー養成講習会を開催する等、応援環境づくりを推進します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合 不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上でさまざまな困難を抱えている子どもや若者の増加が社会問題となっています。このような現状の改善のため、若者の自立支援に取り組み、その成果をはかる指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)			減少	%	
					%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	・若者向けホームページを運営します。 ・北九州市子ども・若者支援地域協議会を運営します。 ・ユースアドバイザー養成講習会を開催します。					
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	若者向けホームページへのアクセス件数 インターネット等により、若者に有益な情報(就業支援等の各種施策、各種相談窓口、市の魅力、仲間づくり等)やそれぞれの専門機関の情報等を効果的かつタイムリーに発信し、若者をサポートする環境づくりを進めることで、若者の自立支援に取り組みます。			15,600 件	%	
	ユースアドバイザー養成講習会の参加者数 若者の自立支援に対応する専門的な相談員「ユースアドバイザー」を養成するため、研修・養成プログラムに基づき、「ユースアドバイザー養成講習会」を開催します。			25 名	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
事業名		課長名	塚崎
		施策番号	
事業概要		I - 1 - (4) - ③	
		不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。 そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』を開設し、自立を支援しています。	
コスト		事業費	23,342 千円
		26年度当初予算額	26年度執行額 (事業費備考)
【Action】改善		見直し内容	・継続的に悩みや課題を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)しながら、相談機関へ繋がるための環境づくりについて検討します。 ・相談事業に加え、コーディネーターを中心に、若者の自立に向けたより細やかなステップアップに繋がる体験プログラムの提供について検討します。
		26年度実績 26年度目標	26年度実績(達成率) 成果の状況 代表的な成果指標の実績などを参考に、活動の状況をチェック

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 平成24年度は、延べ相談件数が2,713件(来所973件、電話1,740件)、その内新規来所相談実人数は145件となっています。また、自立へのステップアップのために必要な体験プログラムへの延べ参加者数は1,019人となりました。しかし、相談機関へ未だ繋がっていない者の存在が推測されること、また、自立に向けたステップアップに繋がる体験プログラムの充実が必要です。	目安の金額 3,775 千円 課長 0.10 人 係長 0.15 人 職員 0.15 人 (人件費備考)
-----------	--	---

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	困難を抱えている子どもや若者	さまざまな困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』の運営を行い、自立を支援します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合 ニートやひきこもり、不安定な雇用形態等将来を見通せない不安の中、社会生活を円滑に営む上でさまざまな困難を抱えている若者の増加が社会問題となっています。このような現状の改善のため、若者の自立支援に取り組み、その成果をはかる指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)		減少	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	○子ども・若者応援センター「YELL」を運営します。 ・困難を抱える子どもや若者の育成支援に関する総合相談・助言 ・保護者のための面接相談 ・相談内容に応じた情報提供 ・専門機関との連携 等			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	
	来所・電話相談件数 悩みや課題を抱える子どもや若者、その保護者等を適切にサポートしていきます。(YELLの認知度を測る指標として設定しますが、本来は「相談内容」が重要なため、数値目標は設定できません。)		増加	%
				%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局					
		担当課	子ども総合センター					
		課長名	高橋					
事業名	児童虐待防止(子どもの人権擁護)推進事業		施策番号					
			II - 3 - (1) - ④					
事業概要	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修及び広報活動を行います。		事業手法					
				<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.80 人	(人件費備考)
		15,567 千円	千円			33,200 千円	係長 0.90 人 職員 2.00 人	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 関係機関職員を対象にした「児童虐待対応リーダー養成研修」や市民や関係機関職員に対する「連続講座」などを実施した結果、児童虐待通告件数は増加しています。	見直し内容	通告のうち虐待と認められたものの児童虐待対応件数の減少に取り組むため、今後とも、左記の事業を実施していくとともに、相談対応の強化を図ります。
-----------	--	--------------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	児童虐待事案	児童虐待に関する啓発や研修を積極的に行うとともに、児童虐待の早期発見、早期対応に努め、事案の減少を目指します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	児童虐待対応件数 児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待対応件数の減少につながることから、成果指標として掲げました。 最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			減少	%	
					%	
(最終目標と目標年度)				%		

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	児童虐待相談対応体制の強化を図ります。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		26年度実績 (達成率)
	児童虐待問題連続講座の参加者数 市民や関係機関職員を対象にした「児童虐待問題連続講座」などを実施した結果、児童虐待通告件数が増加したことから、参加者数を指標として掲げました。		対前年度増 %
	児童虐待対応リーダー養成研修の参加者数 児童虐待の早期対応を図るため、保育所、学校等の職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」を毎年実施しています。毎年対象施設が異なるため、参加者数も変動しますが、指標として掲げました。		— %

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
事業名 児童虐待防止医療ネットワーク事業		課長名	西尾
		施策番号 II - 3 - (1) - ④	
事業概要 児童虐待の早期発見、早期対応につなげるため、中核的な小児救急病院等に児童虐待コーディネーターを配置し、地域の医療機関から児童虐待対応に関する相談への助言を行うなど、医療機関を中心としたネットワークを構築し、児童虐待対応への必要な体制整備を行います。		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
		(人件費備考)	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	4,500 千円	千円	人件費
		目安の金額	課長 0.01 人 係長 0.10 人 職員 0.15 人
		2,240 千円	(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 児童虐待に関する相談件数は年々増加しており、医療機関でも虐待が疑われる児童の受診も増えていると考えられます。しかし、医療機関によっては知識や経験が不十分のため、適切な対応ができていない可能性も考えられます。	見直し内容	—
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	児童虐待事案	核となる医療機関を中心に、児童虐待対応のネットワークづくりや保健医療従事者への研修等を行い、虐待の早期発見、早期対応につながる適切な対応ができる体制づくりを進めます。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標
	児童虐待対応件数			減少
	児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待対応件数の減少につながることから、成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)			%
				%
				%

活動計画	どうやって目的を達成するか 中核的な小児救急病院等に児童虐待コーディネーターを配置し、地域の医療機関から児童虐待対応に関する相談への助言や、保健医療従事者に対する研修等を行い、虐待対応の体制整備を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		26年度実績(達成率)
	児童虐待対応向上のための教育研修の参加者数		%
	保健医療従事者に対する研修を行い、児童虐待対応に対する理解を深めてもらうことが虐待の早期発見に必要と考えるため、参加者数を指標として掲げました。		%
			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>
------------------	--

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	子育て支援課
		課長名	西尾
事業名	子ども・家庭相談コーナー運営事業	施策番号	
		II - 3 - (1) - ④	
事業概要	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげています。	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
		(人件費備考)	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	87,976 千円	千円	目安の金額 課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.60 人 (人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 子どもと家庭に関する相談は増加傾向にあります。また、その内容は複雑化していることから、相談員にはより高い専門性が求められています。	見直し内容	相談員を対象に、年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修、事例検討会等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応していきます。
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	子どもや家庭等の悩みや不安を持つ相談者	「子ども・家庭相談コーナー」で、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図ります。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標
	児童虐待対応件数 児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待防止につながり、結果として、児童虐待対応件数の減少として現れることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元氣発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)		減少	26年度実績(達成率)
				%
		(最終目標と目標年度)		%

活動計画	どうやって目的を達成するか	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげ、総合的な相談窓口としての役割を担います。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績
	相談件数 各区の「子ども・家庭相談コーナー」において、子ども・家庭相談員等が、来所、電話、訪問、手紙など、様々な形態による相談に応じています。その相談件数を活動指標として設定しました。		26年度目標
			-
			26年度実績(達成率)
			%
			%
			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	男女共同参画推進課		
		課長名	櫻江		
事業概要		施策番号			
事業名	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業【男女共同参画広報・啓発事業】				II - 3 - (2) - ①
事業概要	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就労・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目金の金額	課長 0.20 人
	329,786 千円	千円	事業費には、施設等管理費 268,206千円を含む。	7,550 千円	係長 0.30 人 職員 0.30 人
					(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	各種講座等の開催について、ほぼ計画通りに行うことが出来ました。また、「北九州市の男女共同参画社会に関する調査」において「性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合」が薄れる結果となりました。今後も、更なる広報・啓発の推進や、働く場における女性の活躍の推進が必要です。	見直し内容	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入しています。今後とも、3館で課題の共有や情報交換などを行うことで、効果的・経済的な事業実施に努めます。
----	-------------------	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	社会全体	働く場における女性の活躍の推進や、子育て等の家庭生活における男女共同参画のさらなる推進を図るとともに、男女共同参画に関する市民の理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9 %	増加		
	広報啓発事業や就労支援事業などの様々な事業推進の成果として、概ね5年おきに実施される「北九州市の男女共同参画社会に関する調査結果」の「男女共同参画社会という言葉の認知度」を設定しました。 (最終目標と目標年度)増加				
	(最終目標と目標年度)				

活動計画	どうやって目的を達成するか	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、講座やセミナーの開催等、男女共同参画の推進のための様々な事業を実施し、男女共同参画社会の形成を推進します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画推進に係る各種講座・講演会等開催件数		同程度	%	
	性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発の推進や、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援、また、男性の家事・子育て等への参画促進を目的とした各種講座や講演会等を開催します。				
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画推進に係る各種講座・講演会等参加者数		同程度	%	
	性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発の推進や、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援、また、男性の家事・子育て等への参画促進を目的とした各種講座や講演会等を開催します。				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局
		担当課	男女共同参画推進課
事業名 地域における男女共同参画推進啓発事業		課長名	櫻江
		施策番号 II - 3 - (2) - ①	
事業概要 地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等が企画・実施する広報啓発活動を支援し、男女共同参画に関する理解を深めていきます。		事業手法	
		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	4,156 千円	千円	人件費
		目安の金額	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.30 人
		5,400 千円	(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 北九州市女性団体連絡会議や地域で活動しているNPO等と協働で、男女共同参画に関する広報啓発事業を市内一円でを行い、概ね計画どおり実施できましたが、幅広い層への男女共同参画の推進を図る必要があります。	見直し内容	若年層に対する啓発として活用しているパンフレットの効果的な活用を図るとともに、北九州市女性団体連絡会議やNPO等とさらに連携を図って幅広いネットワークを活かしながら、継続的に広報・啓発事業を実施していきます。なお、講座等の見直しを行い、一層効果的な啓発を進めていきます。
-----------	--	--------------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 市民	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 地域で活動しているNPO等と協働で、固定的役割分担意識解消のための広報・啓発事業を市民センターなど市内一円でを行い、男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9 %	増加	%	
	広報啓発事業や就労支援事業などの様々な事業推進の成果として、概ね5年おきに実施される「北九州市の男女共同参画社会に関する調査結果」の「男女共同参画社会という言葉の認知度」を設定しました。 (最終目標と目標年度)増加	(23年度調査)		%	
(最終目標と目標年度)			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか ・北九州市女性団体連絡会議との協働による「男女共同参画フォーラムin北九州」を開催します。 ・NPO等の公募による男女共同参画に関する広報啓発事業を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	「男女共同参画フォーラムin北九州」及び男女共同参画に関する広報啓発事業(公募制)の実施回数		同程度
	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で当事業を実施し、地域における男女共同参画に関する理解を深めることから、活動指標として掲げました。		同程度
	「男女共同参画フォーラムin北九州」及び男女共同参画に関する広報啓発事業(公募制)の参加者数		同程度
	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で当事業を実施し、地域における男女共同参画に関する理解を深めることから、活動指標として掲げました。		同程度

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	男女共同参画推進課		
		課長名	櫻江		
事業概要					
事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業		施策番号		
			II - 3 - (2) - ②		
事業概要	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を図ります。		事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
				()	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)		目安の金額
	14,870 千円	千円			11,050 千円
		人件費		課長 0.20 人	(人件費備考)
				係長 0.50 人 職員 0.50 人	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、成果の実現を図っていく必要があります。	見直し内容	ワーク・ライフ・バランスを「実践」していくことを目標として、様々な企業・団体と一層連携を深め、より多くの市民、企業に直接働きかけていくことで「実践」を通した成果実現につなげていきます。
----	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民や企業等	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進及び実践に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行うことにより、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現できるようにします。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合			増加		
	仕事と生活のバランスについて、両立が図られている人が少なく、ワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。				%	
	(最終目標と目標年度)増加を目指します					

活動計画	どうやって目的を達成するか ・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催します。 ・企業向け講演会やアドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけを行います。 ・従業員向け広報啓発やワーク・ライフ・バランス表彰の実施を市内企業や事業所に呼びかけます。 ・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンなどによる広報啓発事業を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者数			同程度		
	ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することが、企業等における取組みの支援・促進につながることから、活動指標として掲げました。				%	
	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣回数			同程度		
新たにワーク・ライフ・バランスに取組もうとする事業者等やその充実を図ろうとする事業者等に対し、北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザーを派遣することで、ワーク・ライフ・バランスの推進につながることから、活動指標として掲げました。				%		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局			
		担当課	男女共同参画推進課			
		課長名	櫻江			
事業概要		施策番号				
事業名	男女共同参画基本計画推進事業【配偶者等からの暴力対策事業】				II - 3 - (2) - ③	
事業概要	配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力は、重大な人権侵害であることを誰もが認識し、暴力を容認しない意識の醸成のための広報・啓発を行います。 子どもの頃からの男女共同参画意識の醸成や今後の進路選択に役立てるため、市内の小学5・6年生と中学生を対象に男女共同参画についての基本的な項目をまとめた副読本を作成し、配付します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20人
		7,348 千円	千円		11,300 千円	係長 0.60人 職員 0.40人
						(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 DV対策については、地域や学校において出前講演を開催するなど、DV対策啓発事業を行いました。配偶者等からの暴力に関する正しい認識の促進を引き続き図る必要があります。	見直し内容	NPO等と連携を図って、出前講演等を実施し、また、警察など関係機関との連絡会議を開催して情報を共有していくことが必要となります。
----	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	配偶者等からの暴力について正しく認識し、それぞれの人権を尊重する意識を醸成します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合		—	%		
	DV(配偶者等からの暴力)を根絶するためには、暴力に関する正しい認識の周知・啓発が不可欠であると考え、成果指標として設定しました。次期計画(平成26年3月策定予定)で、最終年度と最終目標を設定する予定です。 (最終目標と目標年度)					

活動計画	どうやって目的を達成するか ・NPO等との協働による出前講演など、地域・学校などにおけるDV対策広報啓発事業を実施します。 ・DV対策関係機関連絡会議を開催します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	DV・デートDVの予防啓発に関する出前講演等の実施回数		同程度	%	
	NPO等との協働やムーブ主催の出前講座等により、地域・学校等におけるDVIに対する正しい理解を深め、潜在しているDV被害者の支援に努めます。				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	男女共同参画推進課		
		課長名	櫻江		
事業概要		施策番号			
事業名	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業【女性活躍推進事業】				II - 3 - (2) - ④
事業概要	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就労・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目金の金額	課長 0.20 人
	329,786 千円	千円	事業費には、施設等管理費 268,206千円を含む。	7,550 千円	係長 0.30 人 職員 0.30 人
				(人件費備考)	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	各種講座等の開催について、ほぼ計画通りに行うことが出来ました。また、「北九州市の男女共同参画社会に関する調査」において「性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合」が薄れる結果となりました。今後も、更なる広報・啓発の推進や、働く場における女性の活躍の推進が必要です。	見直し内容	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入しています。今後とも、3館で課題の共有や情報交換などを行うことで、効果的・経済的な事業実施に努めます。
----	-------------------	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	社会全体	働く場における女性の活躍の推進や、子育て等の家庭生活における男女共同参画のさらなる推進を図るとともに、男女共同参画に関する市民の理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9 %	増加		
	広報啓発事業や就労支援事業などの様々な事業推進の成果として、概ね5年おきに実施される「北九州市の男女共同参画社会に関する調査結果」の「男女共同参画社会という言葉の認知度」を設定しました。 (最終目標と目標年度)増加				
	(最終目標と目標年度)				

活動計画	どうやって目的を達成するか	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、講座やセミナーの開催等、男女共同参画の推進のための様々な事業を実施し、男女共同参画社会の形成を推進します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画推進に係る各種講座・講演会等開催件数		同程度	%	
	性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発の推進や、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援、また、男性の家事・子育て等への参画促進を目的とした各種講座や講演会等を開催します。				
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画推進に係る各種講座・講演会等参加者数		同程度	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	男女共同参画推進課		
		課長名	櫻江		
事業概要					
事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業		施策番号		
			Ⅲ - 3 - (3) - ③		
事業概要	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を図ります。		事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
				(人件費備考)	
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額
		14,870 千円	千円		11,050 千円
				人件費	課長 0.20 人 係長 0.50 人 職員 0.50 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、成果の実現を図っていく必要があります。	見直し内容	ワーク・ライフ・バランスを「実践」していくことを目標として、様々な企業・団体と一層連携を深め、より多くの市民、企業に直接働きかけていくことで「実践」を通した成果実現につなげていきます。
----	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)			成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民や企業等	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進及び実践に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行うことにより、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現できるようにします。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合			増加	%	
	仕事と生活のバランスについて、両立が図られている人が少なく、ワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。					
	(最終目標と目標年度)増加を目指します					

活動計画	どうやって目的を達成するか ・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催します。 ・企業向け講演会やアドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけを行います。 ・従業員向け広報啓発やワーク・ライフ・バランス表彰の実施を市内企業や事業所に呼びかけます。 ・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンなどによる広報啓発事業を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者数			同程度	%	
	ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することが、企業等における取組みの支援・促進につながることから、活動指標として掲げました。					
	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣回数			同程度	%	
新たにワーク・ライフ・バランスに取組もうとする事業者等やその充実を図ろうとする事業者等に対し、北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザーを派遣することで、ワーク・ライフ・バランスの推進につながることから、活動指標として掲げました。						

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	男女共同参画推進課		
		課長名	櫻江		
事業概要		施策番号			
事業名	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業【女性活躍推進事業】				IV - 3 - (2) - ②
事業概要	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就労・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目金の金額	課長 0.20 人
	329,786 千円	千円	事業費には、施設等管理費 268,206千円を含む。	7,550 千円	係長 0.30 人 職員 0.30 人
(人件費備考)					

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	各種講座等の開催について、ほぼ計画通りに行うことが出来ました。また、「北九州市の男女共同参画社会に関する調査」において「性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合」が薄れる結果となりました。今後も、更なる広報・啓発の推進や、働く場における女性の活躍の推進が必要です。	見直し内容	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入しています。今後とも、3館で課題の共有や情報交換などを行うことで、効果的・経済的な事業実施に努めます。
----	-------------------	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	社会全体	働く場における女性の活躍の推進や、子育て等の家庭生活における男女共同参画のさらなる推進を図るとともに、男女共同参画に関する市民の理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	男女共同参画社会という言葉の認知度		68.9 %	増加		
	広報啓発事業や就労支援事業などの様々な事業推進の成果として、概ね5年おきに実施される「北九州市の男女共同参画社会に関する調査結果」の「男女共同参画社会という言葉の認知度」を設定しました。 (最終目標と目標年度)増加		(23年度調査)			
	(最終目標と目標年度)					

活動計画	どうやって目的を達成するか	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、講座やセミナーの開催等、男女共同参画の推進のための様々な事業を実施し、男女共同参画社会の形成を推進します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画推進に係る各種講座・講演会等開催件数			同程度		
	性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発の推進や、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援、また、男性の家事・子育て等への参画促進を目的とした各種講座や講演会等を開催します。				%	
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画推進に係る各種講座・講演会等参加者数			同程度		
	性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発の推進や、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援、また、男性の家事・子育て等への参画促進を目的とした各種講座や講演会等を開催します。				%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

事業概要		担当局	子ども家庭局							
		担当課	保育課							
事業名 特別保育事業補助		課長名	本脇							
		施策番号 IV - 3 - (2) - ②								
事業概要	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図ります。また、保護者のパート就労や冠婚葬祭、および育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図ります。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、統合保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図ります。		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">コスト</td> <td>事業費</td> <td>26年度当初予算額 1,319,625 千円</td> <td>26年度執行額 千円</td> <td>(事業費備考)</td> <td>人件費</td> <td>目安の金額 3,650 千円</td> <td>課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.20 人</td> <td>(人件費備考)</td> </tr> </table>			コスト	事業費	26年度当初予算額 1,319,625 千円	26年度執行額 千円	(事業費備考)	人件費	目安の金額 3,650 千円
コスト	事業費	26年度当初予算額 1,319,625 千円	26年度執行額 千円		(事業費備考)	人件費	目安の金額 3,650 千円	課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.20 人	(人件費備考)	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	成果指標として設定した「保育所に対する満足度(保育内容)」は、前年度比較において向上しました。社会経済状況の変化や保護者の就労形態の多様化等に伴い、子育て環境は変化しており、保育所特別保育事業(延長保育、一時保育、障害児保育)に対するニーズも刻々と変化していくため、これに対応していく必要があります。	見直し内容	成果指標である「保育所に対する満足度(保育内容)」の更なる向上を目指し、特別保育事業(延長保育、一時保育、障害児保育)に対するニーズの変化などの状況把握に努め、利用可能施設を拡充していきます。
-----------	-------------------	--	--------------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 児童および保護者	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 保育所の特別保育事業の拡充および質の向上を図ることで、安全安心な子育て環境を整備し、安心して働き、子育てできる社会を実現します。また、障害のある児童を含め、子どもの福祉向上を図ります。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	保育所に対する満足度(保育内容)		向上		
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みに対する成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(平成26年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 引き続き、延長保育実施施設数および一時保育実施施設数を増やすことで、活動指標で定めた目標数を達成します。障害児保育については、既に統合保育が可能な障害児の受け入れを全保育所で取り組むと同時に、直営保育所においては、統合保育が可能な重度障害児の受け入れも行っています。また、延長保育および一時保育における、障害児保育の実施率の向上にも努めていきます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	延長保育を実施する保育所の施設数		153 施設		
	保育所の新設や公立民営化に伴う延長保育の実施、既存保育所の新規実施により、延長保育実施施設数を増やすことが多様な保育ニーズの対応につながることから、活動指標として掲げました。(目標数は「元気発進！子どもプラン」に基づく)			%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>
------------------	--

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局		
		担当課	男女共同参画推進課		
		課長名	櫻江		
事業概要		施策番号			
事業名	(公財)アジア女性交流・研究フォーラム事業				VII - 1 - (3) - ③
事業概要	(公財)アジア女性交流・研究フォーラムにおいて、「国際的な最新情報の収集・発信」「成果の地域還元」「フェイスtoフェイスの国際交流」「あらゆる分野での女性のエンパワーメント」「次世代育成」「男性の視点からの男女共同参画の推進」「DV相談体制等の強化」「情報提供の充実」を目指し、様々な事業を実施します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.10人
	71,201 千円	千円		4,650 千円	係長 0.20人 職員 0.20人
					(人件費備考)

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	幅広い市民の参加、理解を図るため、市民の視点やニーズに合ったテーマを設定した講演会やセミナーを開催することが必要であると考えます。また、市の政策課題である「第3次男女共同参画基本計画」の重点取組みに直結した業務を行い、その成果を市民や地域へ還元していくことが重要であると思ます。 国際的な視点からの男女共同参画の推進に加えて、「第3次男女共同参画基本計画」の具体的施策を具現化するための事業に集中して取り組みます。
----	-------------------	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	社会全体	日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する調査・研究、国際交流・研修、情報収集・発信等を行う(公財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動を支援し、本市における男女共同参画社会の形成を推進します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	男女共同参画社会という言葉の認知度		68.9 %	増加		
	広報啓発事業や就労支援事業などの様々な事業推進の成果として、概ね5年おきに実施される「北九州市の男女共同参画社会に関する調査結果」の「男女共同参画社会という言葉の認知度」を設定しました。 (最終目標と目標年度)増加		(23年度調査)			
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する調査・研究事業、国際交流・研修事業、情報収集・発信事業を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	アジア女性会議の効果的な開催			維持		
	男女共同参画などの視点に立って本市とアジアを結ぶ交流等の場である「アジア女性会議-北九州」について、市内外及び海外からの参加を通じて国際交流の拡充を図ります。				%	
	海外関係機関との交流の充実			維持		
	海外のジェンダー関連組織に共通する課題の解決に向けた恒常的な海外ネットワークの形成を目指し、共同セミナーの開催や協定の締結など、交流の機会を設けます。				%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	